



《ミニブレーク169》

ツォンガのパワーショット

監修/辻野隆三(MIRAI TENNIS ACADEMY) 作画/石川正順



ATPツアーマスターズ1000
北京大会準決勝
(2015年10月11日～18日 中国・上海)



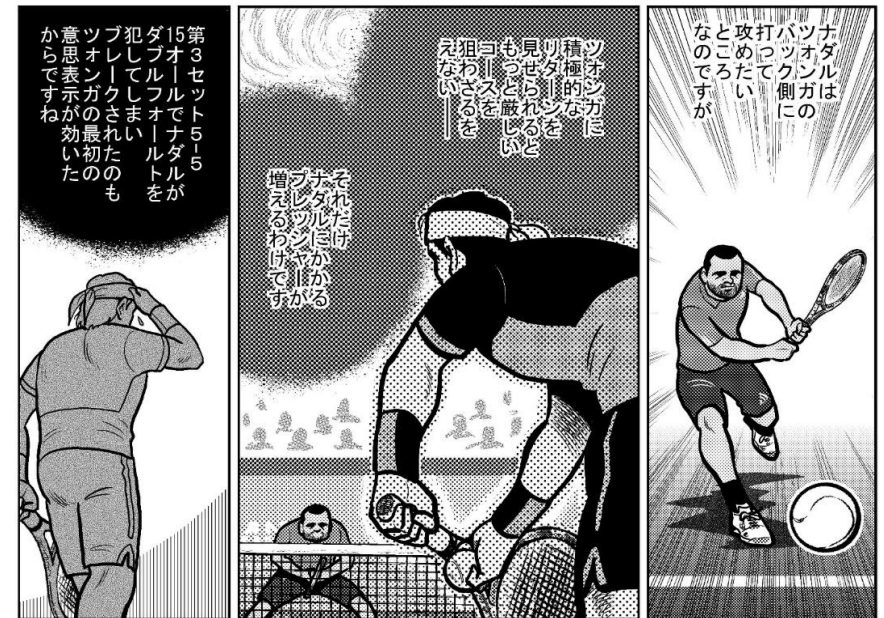
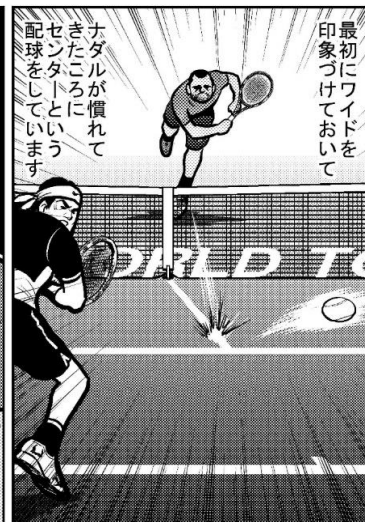
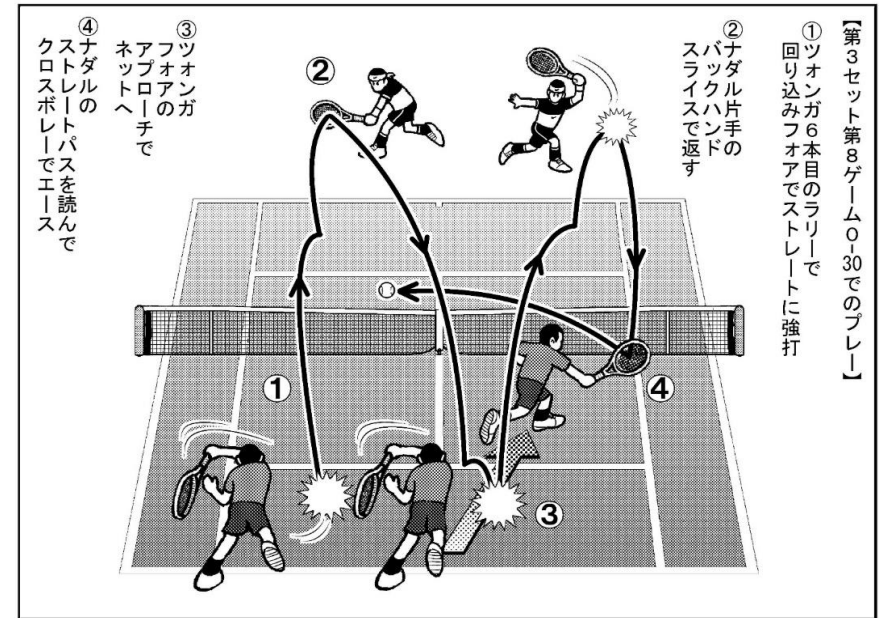
ラファエル・ナダル

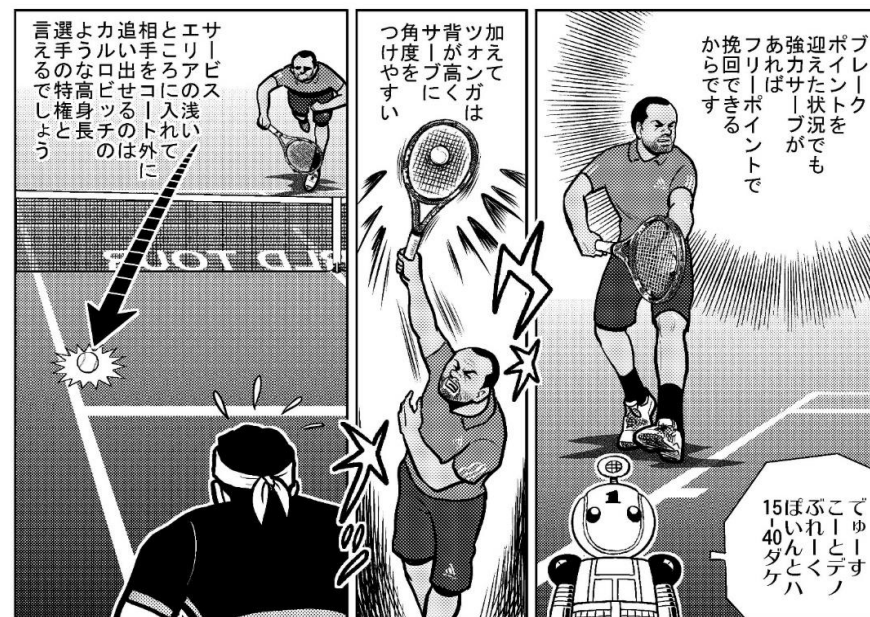
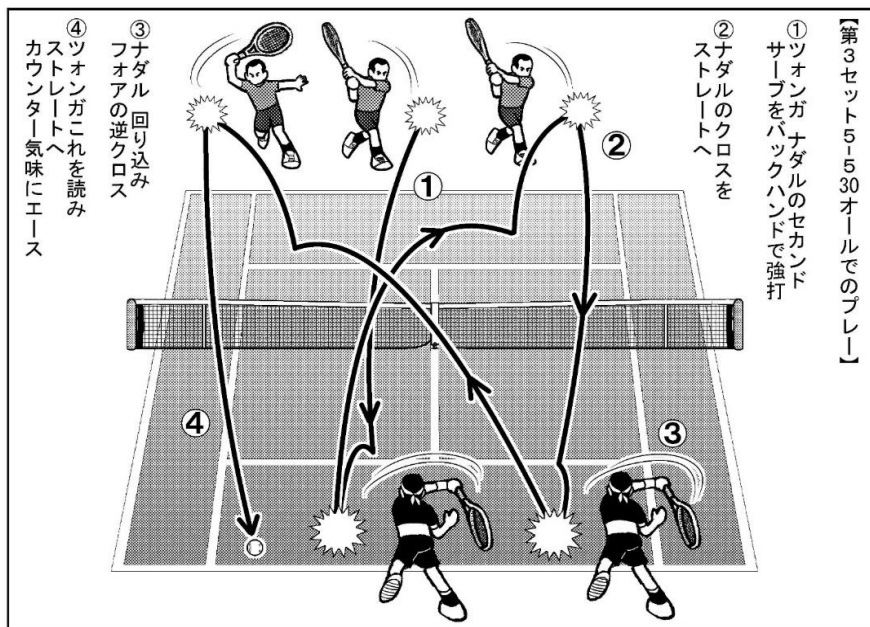
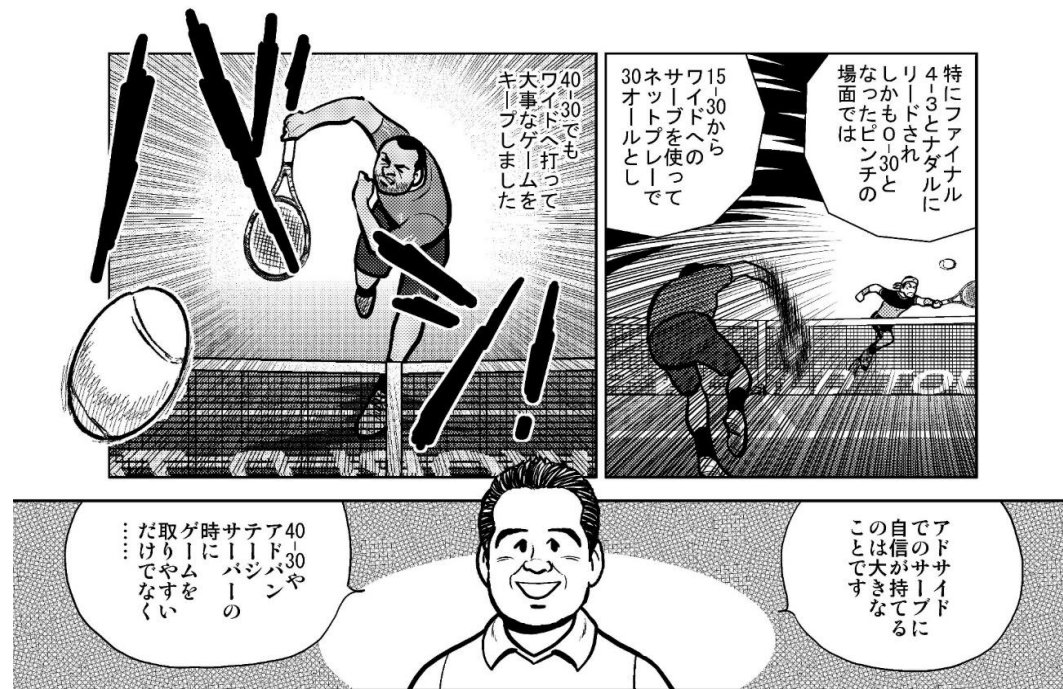
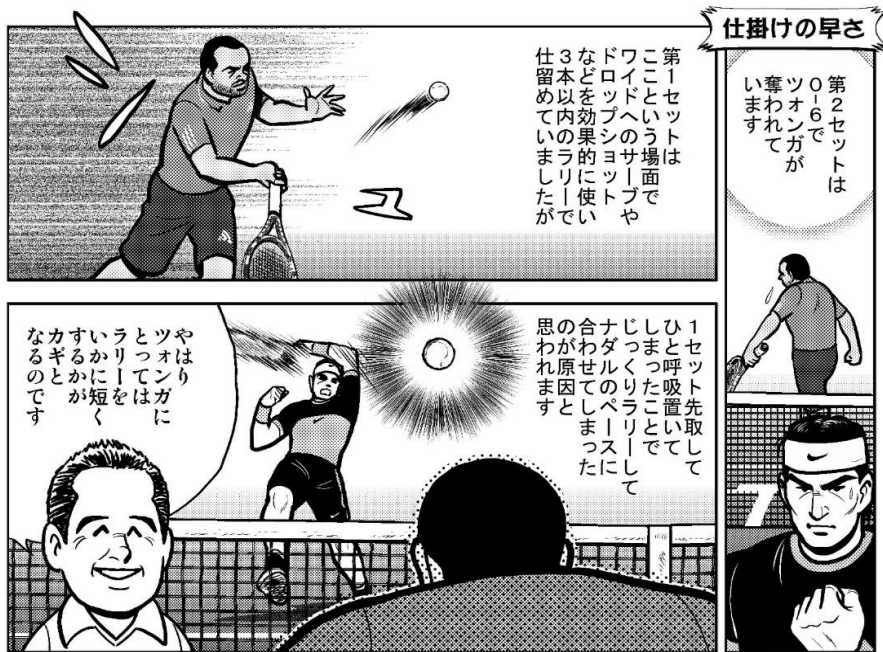
1986年6月3日生まれ 29歳
身長185cm/体重85kg
スペイン・マヨルカ島、マナコル出身
対戦時のランキングは7位

VS.

ジョー=ウィルフリード・ツォンガ

1985年4月17日生まれ 30歳
身長188cm/体重91kg
フランス・ルマン出身
対戦時のランキングは15位





小ネタおなあ

皆さん、ご存じのように、ナダルはポイント間のインタバルをかなり長くとり、心肺機能を整えています。

ところが今季、タイムバイオレーションが厳格化され、ポイント間が25秒を超えると1回目は警告、2回目はファーストサーブが剥奪されることになったのです。

WARNING

以前は+5秒くらいは大目に見てたんだよねい

《ナダルのサーブゲームでのルーティン》

- ①サーブスライインに歩み寄りながらラケットで10回ほど『マリつき』
- ②右手に持った3個のボールから2個選ぶ
- ③再びラケットで10回マリつき（この間パンツのズレを直し、両袖をたくし上げ、髪の毛の乱れを整えます）
- ④右手で5回マリつき
- ⑤スイング始動

計ってみたら①から⑤まで約23秒……うーむギリギリ

全仏などではこれに「ラケットでシューズの土を落とす」動作が加わり、軽くて25秒を超えてしまうおそれがあります。

もしかしたらこういってたら、ルーティンに余裕が持てなくなつたのも、ナダルの不調の原因の一端かもね

【今月のポイント】

ツオンガが今回用いたナダル攻略法です。

- ①「甘いサーブは回り込んで打つぞ」という意思表示をする
- ②アドサイドかあのサーブはワイドに集めオーブンスペースを作る
- ③早い仕掛けでラリーを短くする

あ、ツオンガー、ツオンガラ、ツオンガラ、ツオンガラ

特ニ深い意味ハナイデス

ツオンガは今季序盤、右手首を痛め低調でしたが

61701
71564
ツオンガ
ナダルを下す

やた

回復してから彼の持ち味である攻撃的ショットが、特ニフォアハンドのパワーがよみがえりました

今回のナダルにしても全仏の錦織に對しても（312で勝利）とにかく、ショットの威力で彼らの鉄壁とも崩している守備力を崩しています

何しろフルスイングでミスヒットした時なんかは

相手の後ろのフェンスに直撃させたりするくらいです（笑）

プロでもあそこまでのパワフルな打てる選手はいません

1発の魅で力満載ですわね